NTV日経DVD

DVD VIDEO DVD 全2巻

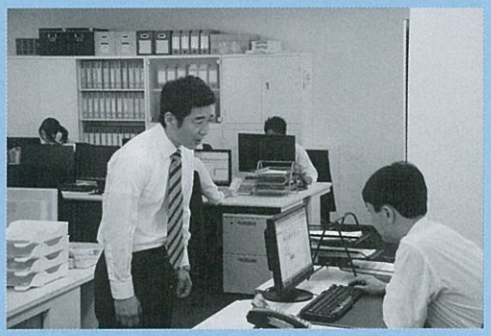
不祥事を撲滅する動画研修コンテンツ

不正を許さない職場づくり

DVD 全2巻

第1巻 若手社員・中堅社員編　第2巻 管理職・経営層編

不正の発生原因は問題を起こした本人のせいだけではありません。
不正が起こりやすい「過度のプレッシャー」「相談できない雰囲気」
「同僚への無関心」といった職場環境も大きな要因です。
全従業員が不正のトライアングル（3要素）を理解して職場内の不正の
3要素を排除することが不正防止につながります。
コンプライアンス研修は個々のモラルの向上を訴えるものが主流ですが
本DVDは視聴者が組織の中にある不正の要素を発見し、排除するために
何をすべきかを個々に考えさせられる内容になっております。全従業員が
考えに行動に移すことで不正のない組織へと変わっていきます。



不正のトライアングル（3要素）とは

1950年代に米国の組織犯罪研究者ドナルド・クレッシーが提唱したもので、「動機」「機会」「正当化」の3要素が全て揃うと不正が起きやすい。「動機」とは借金返済やノルマ未達など不正行為を実行するしかないと考えるに至る事情があること。「機会」とは不正を犯しても秘密裏に問題解決できる権限を有しているなど発覚するリスクが少ない環境にいることへの認識。「正当化」とは「仕方がない」「悪いのは自分ではなく会社だ」など自分にとって都合のいい理由を持つことを指す。

[監修] **高巖**　麗澤大学経済研究科 教授 専門は企業倫理

早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了、博士（商学）。京都大学経営管理大学院客員教授のほか、国民生活審議会 専門委員（内閣府）、産業構造審議会 専門委員（経済産業省）、運輸審議会 専門委員（国土交通省）、消費者志向経営の取組促進に関する検討会 委員（消費者庁）などを歴任。2008年、全米企業倫理コンプライアンス協会（SCCE）より国際倫理コンプライアンス賞を受賞。著書に『コンプライアンスの知識』日本経済新聞出版社（2010年）、『ビジネス・エシックス[企業倫理]』日本経済新聞出版社（2013年）、『女子高生と学ぶ稲盛哲学』日経BP（2015年）他。

第1巻 若手社員・中堅社員編

■ケースドラマ
■ケース解説
- 不正のトライアングル（3要素）とは
- 不正につながるプレッシャー
- 不正を告発する勇気
- 正当化の魔力
- 同僚の無関心

第2巻 管理職・経営層編

■ケースドラマ
■ケース解説
- 不正のトライアングル（3要素）とは
- 不正をさせないコミュニケーション
- 不正が起きにくい職場環境の構築
- 不正の正当化の理由を部下に与えていないか

DVD VIDEO DVDビデオ版　全2巻

■セット価格　¥100,000（本体）+税
■各巻価格　¥50,000（本体）+税
■収録時間　第1巻 約39分
　　第2巻 約36分